

第5章 市民協働・行財政運営

～市民と行政が共に輝く未来をつくる～



令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	輝くまちづくり交付金事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部市民協働推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	輝くまちづくり交付金事業を通じ、市民と行政が協働、連携して公益的な事業を実施することで、地域やまちの課題を共有し、課題解決を通じて地域の活性化につながる新たな取組を支援する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果																																
① 課題テーマに沿った提案事業の募集 ○2023年度の課題テーマ ・地域経済の活性化 ・地域を担う人材育成 ・安心して暮らせる都市 ・若い世代を社会全体で支える ○上記課題テーマに沿った提案事業を募集。 (市ホームページ、広報くしろ、報道各社等の媒体を通じて事業を募集)	① 課題テーマに沿った提案事業の募集 ○受付期間 2023年4月14日～5月12日 ○市内で活動する市民団体等から、21事業の提案を受けた。 ② プレゼンテーション審査会の開催 ◎21事業のうち、1事業が辞退、20事業を審査し、14事業を採択。																																
② プレゼンテーション審査会の開催 ○提案事業について、プレゼンテーション審査会を開催。	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>採択事業</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>デロリアンで行く！環境×未来都市くしろ</td><td>200千円</td></tr> <tr><td>0歳児からのファミリーコンサート～垣根を越えて～</td><td>200千円</td></tr> <tr><td>災害対策トレーニングin釧路</td><td>250千円</td></tr> <tr><td>防災教育プログラム作成事業</td><td>300千円</td></tr> <tr><td>ひがし北海道防災スクール2023</td><td>300千円</td></tr> <tr><td>不登校の子も親も安心しよう</td><td>145千円</td></tr> <tr><td>釧路散策マップ 毛織建築・富士見商店街</td><td>150千円</td></tr> <tr><td>未来につながる多世代型コミュニティ拠点推進事業</td><td>250千円</td></tr> <tr><td>旧五十嵐家住宅説明資料作成事業</td><td>50千円</td></tr> <tr><td>ノスタルジック946(くしろ)～釧路懐かし写真館～</td><td>250千円</td></tr> <tr><td>くしろがわオープンテラス2023</td><td>200千円</td></tr> <tr><td>雄別鉄道開業100周年記念！交流型サイクルイベント開催と観光DXを活用した地域内サイクル情報発信</td><td>150千円</td></tr> <tr><td>地域連携による阿寒丹頂の里エリア魅力発信プロジェクト</td><td>250千円</td></tr> <tr><td>くしろ元気プロジェクト音別町&阿寒町「地産地縁」～元気はつらつ！キャラバン～</td><td>300千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,995千円</td></tr> </tbody> </table> ※小数点以下、四捨五入	採択事業	交付金額	デロリアンで行く！環境×未来都市くしろ	200千円	0歳児からのファミリーコンサート～垣根を越えて～	200千円	災害対策トレーニングin釧路	250千円	防災教育プログラム作成事業	300千円	ひがし北海道防災スクール2023	300千円	不登校の子も親も安心しよう	145千円	釧路散策マップ 毛織建築・富士見商店街	150千円	未来につながる多世代型コミュニティ拠点推進事業	250千円	旧五十嵐家住宅説明資料作成事業	50千円	ノスタルジック946(くしろ)～釧路懐かし写真館～	250千円	くしろがわオープンテラス2023	200千円	雄別鉄道開業100周年記念！交流型サイクルイベント開催と観光DXを活用した地域内サイクル情報発信	150千円	地域連携による阿寒丹頂の里エリア魅力発信プロジェクト	250千円	くしろ元気プロジェクト音別町&阿寒町「地産地縁」～元気はつらつ！キャラバン～	300千円	合計	2,995千円
採択事業	交付金額																																
デロリアンで行く！環境×未来都市くしろ	200千円																																
0歳児からのファミリーコンサート～垣根を越えて～	200千円																																
災害対策トレーニングin釧路	250千円																																
防災教育プログラム作成事業	300千円																																
ひがし北海道防災スクール2023	300千円																																
不登校の子も親も安心しよう	145千円																																
釧路散策マップ 毛織建築・富士見商店街	150千円																																
未来につながる多世代型コミュニティ拠点推進事業	250千円																																
旧五十嵐家住宅説明資料作成事業	50千円																																
ノスタルジック946(くしろ)～釧路懐かし写真館～	250千円																																
くしろがわオープンテラス2023	200千円																																
雄別鉄道開業100周年記念！交流型サイクルイベント開催と観光DXを活用した地域内サイクル情報発信	150千円																																
地域連携による阿寒丹頂の里エリア魅力発信プロジェクト	250千円																																
くしろ元気プロジェクト音別町&阿寒町「地産地縁」～元気はつらつ！キャラバン～	300千円																																
合計	2,995千円																																
③ 採択事業の検証 ○2023年度事業の事業実績報告会を開催。	③ 採択事業の検証 ○事業実績報告会を2024年2月8日に開催。 ◎採択事業者に事業の進捗や実績について報告いただき、事業者間の情報交換や、釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略に即した事業や観光・福祉など公益的な事業による市民と行政の協働・連携が図られた。																																

【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,523	3,035	3,050
財源	一般財源 (千円)	2,523	3,035	3,050
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,112	2,141	2,174
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		19.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 155,880 人(R6.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果		評価	継続維持	令和5年度実施事業評価結果		評価	継続維持
課題	・規模を縮小した事業があったものの、市と団体等が役割分担しながら協働・連携をすることで、公益性と幅広い波及効果のある事業が、より効果的に実施できた。今後も、市民と行政が協働実施することがふさわしい先進的な行政課題を具体化し、テーマとして設定できるよう、全庁に促していく。			課題	・最多となる応募があり、市と団体等が役割分担しながら協働・連携をすることで、公益性と幅広い波及効果のある事業が、より効果的に実施できた。今後も、市民と行政が協働実施することがふさわしい先進的な行政課題を具体化し、テーマとして設定できるよう、全庁に促していく。		
今後(令和6年度以降)の方向性	・輝くまちづくり交付金を通じて市民が地域社会の一員として、自主的にまちづくりに参加していただく意識づくりの本交付金事業を継続する。			今後(令和7年度以降)の方向性	・輝くまちづくり交付金を通じて市民が地域社会の一員として、自主的にまちづくりに参加していただく意識づくりの本交付金事業を継続する。		

令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	釧路市まちづくり基本構想推進事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	2018年度から2027年度までのまちづくりの指針である「釧路市まちづくり基本構想」の推進と周知を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>(1)出前講座等による啓発の実施 令和4年度より、「目指すべきまちづくり」を同じく掲げる、「第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と併せて出前講座を実施</p> <p>(2)職員向け研修の実施等</p> <p>(3)フォローアップ 釧路市まちづくり基本構想策定委員長(釧路市顧問)を迎えたフォローアップ会議の開催、基本構想の理念を政策に生かす予算の検討を実施</p>	<p>(1)出前講座等による啓発の実施 ①生涯学習まちづくり出前講座の実施 2回 「人口減少社会に立ち向かうまちづくり」 ・実施日 令和5年6月14日 ・対象者 釧路湿原シニア大学 65人 ・実施日 令和5年11月7日 ・対象者 釧路湿原シニア大学 40人 ②釧路短期大学調べ学習への協力 ③北海道教育大学附属釧路義務教育学校6年生の総合学習への協力</p> <p>(2)職員向け研修の実施等 ①令和6年度予算編成における政策予算検討会 ・実施日 令和5年8月9日 ・テーマ 釧路市の未来への投資・所得向上を実現するまちづくり ・対象者 部長職 17人、課長職 2人参加</p> <p>(3)フォローアップ 令和5年度は、令和6年度に釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の次期策定が控えていること、国のデジタル田園都市国家構想の動き等から、フォローアップ会議の開催は見送った。</p>

【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		120	132	151
財源	一般財源 (千円)	120	132	151
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,520	3,568	3,623
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 155,880 人(R6.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果		評価	継続維持	令和5年度実施事業評価結果		評価	継続維持
課題	・まちづくりの指針である釧路市まちづくり基本構想を地域と共有するために、基本構想で位置付けた重点戦略を推進する必要がある。			課題	・まちづくりの指針である釧路市まちづくり基本構想を地域と共有するために、基本構想で位置付けた重点戦略を推進する必要がある。		
今後(令和6年度以降)の方向性	・「釧路市まちづくり基本構想」を推進していく中で、引き続き「都市経営」の考え方の浸透に努める。			今後(令和7年度以降)の方向性	・「釧路市まちづくり基本構想」を推進していく中で、引き続き「都市経営」の考え方の浸透に努める。		

令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	デジタル田園都市国家構想総合戦略
目的と概要	釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各種事業の着実な推進を図るため、外部委員で構成する会議においてフォローアップを行い、その内容について関係部署への情報共有を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>(1)フォローアップ KPI達成度合・掲載事業の実施状況や第2期総合戦略の検証などの報告と意見交換を「釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議(以下、「推進会議」)」にて実施</p> <p>(2)市民周知 HP、出前講座等 ※令和4年度より、「目指すべきまちづくり」を同じく掲げる、「釧路市まちづくり基本構想」と併せて出前講座を実施</p> <p>(3)交付金事業の進捗管理</p>	<p>(1)フォローアップ 令和5年10月30日に開催した第1回推進会議において、KPIや数値目標の達成度合を含めた施策の進捗状況について説明し、外部委員の客観的、専門的な視点から助言を得た。</p> <p>(2)市民周知 ・HP 推進会議の様態については、市HPに掲載し、市民周知を図った。</p> <p>・出前講座等 ①生涯学習まちづくり出前講座の実施 2回 「人口減少社会に立ち向かうまちづくり」 ・実施日 令和5年6月14日 ・対象者 釧路湿原シニア大学大学院 65人 ・実施日 令和5年11月7日 ・対象者 釧路湿原シニア大学 40人</p> <p>(3)交付金事業の進捗管理 推進会議において、令和4年度の国の交付金事業についての施策の進捗状況を説明し、外部委員からの助言を得た。</p>

【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		99	90	235
財源	一般財源 (千円)	99	90	235
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,408	1,427	1,449
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 155,880 人(R6.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見直し等

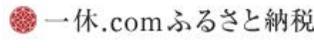
令和4年度実施事業評価結果		評価	継続維持	令和5年度実施事業評価結果		評価	継続維持
課題	・第2期総合戦略に定める施策について推進するとともに、地域経済に影響を及ぼす社会情勢の変化を注視し、必要に応じて、施策等の見直しを検討する必要がある。			課題	・第2期総合戦略に定める施策について推進するとともに、地域経済に影響を及ぼす社会情勢の変化を注視し、必要に応じて、施策等の見直しを検討する必要がある。		
今後(令和6年度以降)の方向性	・外部委員の意見等を踏まえた総合戦略の推進を図る。 ・国の地方創生施策に注視し、積極的な交付金の活用を図る。 ・第2期総合戦略および国の総合戦略に基づき、次期総合戦略の検討を進める。			今後(令和7年度以降)の方向性	・外部委員の意見等を踏まえた総合戦略の推進を図る。 ・国の地方創生施策に注視し、積極的な交付金の活用を図る。		

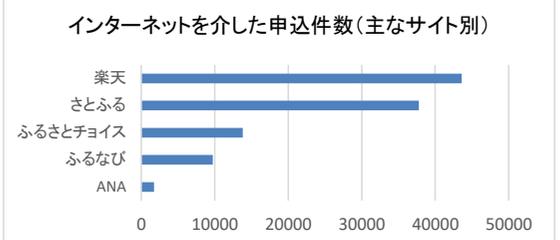
令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ふるさと納税推進事業<当初><12月補正>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市都市経営戦略プラン
	釧路市財政健全化プラン
目的と概要	厳しい財政状況の中で自主財源を確保するため、「ふるさと納税」のPR促進、簡易に寄附できる環境整備、寄附者に対し釧路市の特産品贈呈等により寄附を募るとともに、次年度以降の寄附の継続を促進し、歳入の確保及び増額に努める。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	令和5年度目標：令和4年度を件数、寄附額ともに上回ること 令和4年度実績 99,380件 1,774,540,000円
(1)積極的なPR活動の展開	・ふるさと会、同窓会等へのパンフレットの送付 ・ホームページの整備
(2)寄附しやすい環境づくり	①インターネットを介した申込フォーム導入 ・新たな申込サービスを導入し、寄附者の獲得を図る。 《参考》 令和元年度：「ふるなび」「ANAのふるさと納税」を導入 令和2年度：「三越伊勢丹ふるさと納税」「東急ふるさとパレット」を導入 令和4年度：「JALふるさと納税」「ふるさとらべる」を導入 令和5年度：「まいふる」「一休.comふるさと納税」を導入
	 
	令和4年度利用実績：99,380件中99,200件 (利用率99.8%)

(2)事業の実績と成果	◎令和5年度実績 110,034件 2,200,520,604円
(1)積極的なPR活動の展開	・ふるさと会、同窓会等へのパンフレットの送付 在京釧路会、関西釧路会等 ・釧路市ふるさと納税のランディングページの内容更新 釧路市らしい返礼品のPRに活用した。
(2)寄附しやすい環境づくり	①インターネットを介した申込みフォームの導入 ◎令和5年度利用実績：110,034件中109,869件 (利用率99.9%)
	
(2)新たなポータルサイトの導入	◎新たに2サイトを導入し、間口を広げたことにより、寄附者の選択肢を増やすことができた。

【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,013,829	1,197,006	1,347,776
財源	一般財源 (千円)	1,013,829	1,197,006	1,347,776
	国支支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		9,152	9,277	9,419
① 職員数 (人)		1.3	1.3	1.3
参考 市民一人あたりの費用 (円)			7,679.0	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	
注1)	釧路市民の人口 155,880人(R6.3末現在)			
注2)	市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			

(3)返礼品の充実	・返礼品のラインナップをさらに拡充 《参考》 令和3年度返礼品：946品目 令和4年度返礼品：1,048品目 ・返礼品の公募については随時受付し、都度更新する。												
(4)クラウドファンディング(CF)型ふるさと納税の活用	・クラウドファンディング型ふるさと納税を効果的に活用する方法を検討し、ふるさと納税全体の拡充を図る。												
ふるさと納税の推移	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>1,178,922</td> <td>1,774,540</td> <td>2,200,520</td> </tr> <tr> <td>件数(件)</td> <td>58,495</td> <td>99,380</td> <td>110,034</td> </tr> </table>	年度	R3	R4	R5	金額(千円)	1,178,922	1,774,540	2,200,520	件数(件)	58,495	99,380	110,034
年度	R3	R4	R5										
金額(千円)	1,178,922	1,774,540	2,200,520										
件数(件)	58,495	99,380	110,034										

(3)返礼品の充実	・返礼品のラインナップ拡充 ◎令和5年度返礼品：1,243品目 ※令和5年度新規返礼品：699品目 ・返礼品の公募随時受付 ◎事業者からの企画提案を随時受付し審査・更新
(4)クラウドファンディング(CF)型ふるさと納税の活用	・令和5年度実績なし。引き続き、活用可能事業を検討する。

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果		評価	拡充	令和5年度実施事業評価結果		評価	拡充
課題	・「ふるさと納税募集に際し係る経費」が5割以下となるよう求められている中で、市の取り組みを効果的にPRしていく必要がある。			課題	・「ふるさと納税募集に際し係る経費」が5割以下となるよう求められている中で、市の取り組みを効果的にPRしていく必要がある。		
今後(令和6年度以降)の方向性	・ふるさと納税のさらなる拡大に向けた返礼品の充実やPR展開等を進める。			今後(令和7年度以降)の方向性	・ふるさと納税のさらなる拡大に向けた返礼品の充実やPR展開等を進める。		

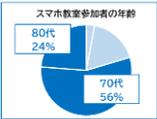
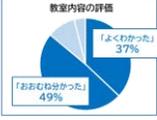
令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	スマート自治体推進事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総務部情報システム課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市デジタル・トランスフォーメーション(DX)実行計画
目的と概要	「スマートフォンの中に市役所がある」を基本理念に、「書かせない」、「待たせない」、「どこでもできる」、市民にとって便利で身近な市役所(「市民ファースト」)と効率的かつ効果的な行政サービスの提供(「行政のスマート化」)を推進するため、デジタル技術の活用を通じた従来の業務の改善、職員の働き方改革、新たな価値の創出を行う。

【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	20,543	18,269	27,780
財源	一般財源 (千円)	10,374	16,865	27,780
	国道支出金 (千円)	10,169	1,404	0
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	10,560	14,272	28,980
①	職員数 (人)	1.5	2.0	4.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		117.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1)	釧路市の人口	155,880 人(R6.3末現在)		
注2)	市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①オンライン施設予約 ・オンライン施設予約システムを導入し、市有施設のオンライン予約を開始する。</p>  <p style="text-align: center;">施設予約HP</p> <p>②行政手続きのオンライン化 ・導入済みのフォーム作成システムに公的個人認証機能とキャッシュレス機能を追加導入し、対象手続きの拡充を図る。</p>  <p style="text-align: center;">オンライン手続き一覧</p> <p>③地域活性化起業人 ・総務省制度を活用し、大手IT企業からデジタル人材を受入。 ・常勤のDXプランナーとして、民間の目線から庁内各課の事務作業見直しを支援。</p> <p>④スマートフォン教室の開催 ・デジタル・デバイド(情報格差)対策としてスマートフォン教室を開催する。</p>  <p style="text-align: center;">スマートフォン教室HPバナー</p> <p>⑤参考資料 ・取組の全体像は以下の資料を参照。</p>  <p style="text-align: center;">釧路市DX推進方針</p>  <p style="text-align: center;">釧路市DX実行計画</p>	<p>①オンライン施設予約 ・令和5年7月以降、BBQコーナー、会議室、運動施設、イベント会場について順次対応。 ◎対応済施設数:10項目18施設(令和6年4月末時点)</p>  <p style="text-align: right;">緑ヶ岡公園バーベキューコーナー</p> <p>②行政手続きのオンライン化 ・令和5年12月、住民票等の各種証明書の郵送交付申請をオンライン&キャッシュレス化。 ◎オンライン化済手続き数:53項目(令和6年4月末時点)</p> <p>③地域活性化起業人 ・令和5年4月と6月に各1名着任。 ◎庁内各課からのヒアリング対応件数:59件(令和6年4月末時点)</p>  <p style="text-align: right;">松田 光由 (SoftBank)</p>  <p style="text-align: right;">長崎 秀作 (富士通Japan)</p> <p>④スマートフォン教室の開催 ・令和5年9月～11月にかけて、市内4会場でのべ36回開催。 ◎参加者数:のべ214名 ◎教室内容の評価: 参加者の9割弱が「よくわかった」「おおむねわかった」と回答。</p>  <p style="text-align: right;">スマホ教室参加者の年齢 80代 24% 70代 56%</p>  <p style="text-align: right;">教室内容の評価 「よくわかった」 37% 「おおむねわかった」 49%</p> <p>⑤参考資料 ・取組の詳細等は以下の資料も参照。</p>  <p style="text-align: center;">スマート自治体プロジェクトチーム活動報告書</p>  <p style="text-align: center;">釧路市役所DX・業務改善ベストプラクティス</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果	評価	拡充	令和5年度実施事業評価結果	評価	拡充
課題	民間目線の専門的知見について、プロジェクトチームだけでなく、庁内を巻き込んだ業務改善や人材育成につなげていく必要がある。また行政手続きのオンライン化については「ぴったりサービス」対象外手続きへの更なる拡充が必要。		課題	デジタル化やDXを加速するためには、デジタル人材(「デジタルの力で行政課題の解決を図る意思と能力を持ち、具体的なアクションをおこす職員」)の育成が必要。 また、デジタル・デバイド(情報格差)対策においては、スマートフォンに関心のない市民へのアプローチが必要。	
今後(令和6年度以降)の方向性	国が主導する行政情報システムの標準化・共通化の動向を見極めながら、令和5年度から採用した地域活性化起業人を活用し、庁内業務改善や人材育成を進めるとともに、公的個人認証やオンライン決済により、行政手続きの更なるオンライン化を進める。		今後(令和7年度以降)の方向性	デジタル人材の育成やデジタル人材が活躍しやすい職場づくりを進めるとともに、アナログも含めたBPR(業務改善)や、新たな技術(生成系AI等)の利活用も行いながら庁内のデジタル化、DXを図る。 あわせて、地域おこし協力隊を活用したアウトリーチ型のデジタル・デバイド(情報格差)対策を進める。	

令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	都市経営戦略プラン推進事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	釧路市が将来にわたって持続的に発展していくために、平成23年度に策定した「都市経営戦略プラン」に基づき、「都市経営」の視点で市役所の仕事を進められるようにする。また、策定と並行して、市役所職員や市民へ「都市経営」の考え方を浸透させるための啓発を行う。 ※都市経営・・・ヒト・モノ・カネ、情報を効率的、効果的に投資し、プラス成長を目指すこと。

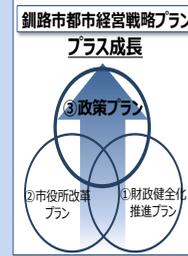
【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,300	2,500	4,150
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	2,300	2,500	4,150
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,520	3,568	3,623
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		16.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 155,880 人(R6.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●政策プランの推進</p> <p>①産業連関表(平成27年度)を活用した産業構造分析を行い、高付加価値化に向けた方策の検討を行う。</p> <p>②釧路公立大学地域経済研究センターへ分析を委託する。</p>	<p>●政策プランの推進</p> <p>①釧路市の水産業における産業構造分析と高付加価値化に関する研究 令和4年度に実施した「釧路市における産業構造分析と高付加価値化等に向けた現状と課題に関する研究」から見えてきた課題をもとに、釧路市産業連関表をはじめとした各種統計資料、水産業関係者に対するアンケート調査等により産業分析構造を分析し、企業の高付加価値化をはじめとした今後の方策を検討した。</p> <p>1 分析結果の概要</p> <p>①水産物流通調査 ・「まいわし」中心の構造となっており、主にフィッシュミールに加工されている。 ・水揚げ量は増加しているが、高付加価値魚種のサンマ・サバが取れなくなり卸売単価は減少</p> <p>②道内水産加工業者へのアンケート ・中堅～大手企業を中心に非正規職員、60代以上の従業員、外国人技能実習生が多い。 ・道内他地域、海外から仕入をする事業者が多く、道外向けの販売を主力とする事業者が多い。</p> <p>③水産業・水産加工業の現状と課題 ・地元市場を通さない流通構造の変化、卸売単価の低下などの環境変化による企業数の減少、大手系列化。 ・【強み】加工会社の集積、高い処理能力、一定の人口規模と都市機能の集積があり、他地域より雇用環境が比較的良好。 ・【弱み】大消費地との距離、養殖に向かない地形、大手系列を超えた連携が難しい。</p> <p>2 提言</p> <p>①強みを生かした道東広域での調達・保管・加工・販売の拠点化 ②地域内の横連携強化による釧路ブランドの強化 ③原魚不足対応としての養殖事業へ対応できる地域の体制づくり</p>

都市経営戦略プランとは…

釧路市が将来にわたって持続的に発展していくために、ヒト、モノ、カネ、情報を効率的、効果的に投資し、プラス成長を目指すことを目的として策定したプラン。政策プラン、市役所改革プラン、財政健全化推進プランの3つのプランで構成されている。



3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果		評価	継続維持	令和5年度実施事業評価結果		評価	継続維持
課題	・「都市経営」の基本的な考え方に基づき、産業基盤の強化や高付加価値向上に資する取り組みを進める必要がある。			課題	・「都市経営」の基本的な考え方に基づき、産業基盤の強化や高付加価値向上に資する取り組みを進める必要がある。		
今後(令和6年度以降)の方向性	・「釧路市まちづくり基本構想」を推進していく中で、引き続き「都市経営」の考え方の浸透に務める。			今後(令和7年度以降)の方向性	・「釧路市まちづくり基本構想」を推進していく中で、引き続き「都市経営」の考え方の浸透に務める。		

令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	行政評価推進事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	市役所改革プラン
目的と概要	都市の経営資源が効率的・効果的に活用されているかをチェックし、さらなる活用を図る意義のもと、①PDCAの考え方の定着、②都市の経営資源の効率的・効果的な投資、③市役所の仕事の「見える化」を目的に行政評価を実施する。 事務事業ごとに「主要施策成果シート」を作成し、これらを「主要施策成果報告書」にまとめ、地方自治法第233条第5項に基づき、決算資料として議会に提出するとともに、ホームページを通じて公表する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																																
<p>①PDCAの考え方の定着 釧路市で行っている下記の事業に対して評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度当初予算の主要事業 (「予算(案)の概要」掲載事業) ・令和4年度補正予算で追加された主要事業 ・令和3年度から令和4年度に繰越をした繰越明許事業 <p>②評価結果の令和6年度予算への反映 評価結果を予算編成に生かすため、予算要求資料に記載</p> <p>③市役所の仕事の見える化 ・主要施策成果報告書の作成</p> <p>・同報告書の市ホームページへの掲載</p>	<p>①PDCAの考え方の定着 釧路市で行っている下記の事業の「主要施策成果シート」を作成し、評価を実施した。(合計197事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度当初予算の主要事業 (「予算(案)の概要」掲載事業) ・令和4年度補正予算で追加された主要事業 ・令和3年度から令和4年度に繰越をした繰越明許事業 <p>②評価結果の令和6年度予算への反映 評価結果が予算編成に生かされるよう、行政評価で用いた「事業の目的と概要」「事業の実績と成果」等を予算要求資料に転記し、翌年度予算との整合性を図った。</p> <p>③市役所の仕事の見える化 ・令和5年9月定例会市議会において、「主要施策成果シート」を1冊にまとめた「令和4年度主要施策成果報告書」を提出</p> <p>・同報告書を市ホームページへ掲載し公表</p>																																																
<p>【予算・決算データ】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度 (決算額)</th> <th>令和5年度 (決算額)</th> <th>令和6年度 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 総額 (千円)</td> <td>165</td> <td>103</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>一般財源 (千円)</td> <td>165</td> <td>103</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>国道支出金 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料・手数料 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考データ】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度 (決算額)</th> <th>令和5年度 (決算額)</th> <th>令和6年度 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参考 職員人件費 (千円)</td> <td>3,520</td> <td>3,568</td> <td>3,623</td> </tr> <tr> <td>① 職員数 (人)</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>参考 市民一人あたりの費用 (円)</td> <td></td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 市民一人あたりの将来負担額 (円)</td> <td></td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 釧路市民の人口 155,880 人(R6.3末現在) 注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。</p>		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)	事業費 総額 (千円)	165	103	120	一般財源 (千円)	165	103	120	国道支出金 (千円)				地方債 (千円)				使用料・手数料 (千円)				その他特定財源 (千円)					令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)	参考 職員人件費 (千円)	3,520	3,568	3,623	① 職員数 (人)	0.5	0.5	0.5	参考 市民一人あたりの費用 (円)		0.7		② 市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0		<p>※ PC等デジタル機器に対応するため、令和4年度分より「主要施策成果シート」の様式を縦型から横型へ変更</p>
	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)																																														
事業費 総額 (千円)	165	103	120																																														
一般財源 (千円)	165	103	120																																														
国道支出金 (千円)																																																	
地方債 (千円)																																																	
使用料・手数料 (千円)																																																	
その他特定財源 (千円)																																																	
	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)																																														
参考 職員人件費 (千円)	3,520	3,568	3,623																																														
① 職員数 (人)	0.5	0.5	0.5																																														
参考 市民一人あたりの費用 (円)		0.7																																															
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0																																															

PDCAとは
事業計画(Plan)を立て、事業を実施し(Do)、取組実績・成果を整理し、課題を明らかにし(Check)、次につなげる(Action)という継続的な業務改善方法のこと。

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果	評価	継続維持	令和5年度実施事業評価結果	評価	継続維持
課題	引き続き、予算編成との連動性や成果重視の予算編成の取り組みについて、行政評価が機能する仕組みを検討する必要がある。		課題	引き続き、予算編成との連動性や成果重視の予算編成の取り組みについて、行政評価が機能する仕組みを検討する必要がある。	
今後(令和6年度以降)の方向性	「釧路市まちづくり基本構想」における中期実施計画と、「主要施策成果報告書」の連動を図り、引き続き行政評価を行っていく。		今後(令和7年度以降)の方向性	「釧路市まちづくり基本構想」における中期実施計画と、「主要施策成果報告書」の連動を図り、引き続き行政評価を行っていく。	

令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	個人番号カード交付等事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部戸籍住民課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	マイナンバーカード交付円滑化計画(内閣府、総務省)
目的と概要	国は令和4年度末までに、ほぼ全ての国民がマイナンバーカードを保有するとの方針のもと普及策を進めていた。マイナンバーカードの設定支援窓口についても、「マイナンバーポイント第2弾」の申請期限が令和5年9月末までに延長されたことから、取り組みの継続が求められた。併せて、マイナンバーカードを取得したい市民への申請機会を充実することで、マイナンバーカードの周知と普及促進を行うものである。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○個人番号カード交付体制の整備、マイナンバーポイント等支援窓口の常設</p> <p>マイナンバーカードの円滑な申請・交付及び、国の消費活性化策「マイナンバーポイント」等の設定支援のためのサポート体制を充実させる。</p> <p>(1)申請・交付等における窓口等の設置 ◎釧路市マイナンバーカードセンター(東部地区、西部地区)、釧路市マイナンバーコールセンターを引き続き開設する。 (2)郵便局への申請サポート業務の委託 ◎より身近な場所でカードの申請サポートが利用できるよう、市内2か所(釧路地区)の郵便局に申請サポート業務を委託する。 (3)申請サポートの充実 ◎マイナンバーポイント効果や健康保健証利用等によりマイナンバーカードの申請者が増加する想定から、市民が便利にカードを取得できるよう申請サポートを充実する。 ・釧路市マイナンバーカードセンターの開所 ・申請時来庁方式(郵送交付)の実施 (4)マイナンバーポイント等支援窓口 ◎令和5年9月末で「マイナンバーポイント第2弾」は申請期限を迎えるが、健康保険証としての利用登録や公金受取口座の登録は、引き続き交付時に行うことが効果的であることから引き続き支援窓口を常設する。 (5)その他 ◎令和5年度 会計年度任用職員21人体制 ・更新担当4名 ・申請・交付・マイナンバーポイント等・出張申請担当17名</p>	<p>○交付・更新体制整備とマイナンバーポイントによるマイナンバーカード普及効果</p> <p>実施結果は以下のとおり 補助率10/10</p> <p>(1)申請・交付等における窓口等の設置 ◎令和3年度に設置した釧路市マイナンバーカードセンター(東部地区、西部地区)及び釧路市マイナンバーコールセンターを引き続き開設した。 ※東部地区設置のカードセンターは令和6年3月20日閉所、西部地区設置のカードセンターに機能を集約した。 ◎実績 交付枚数月平均1,249枚 申請件数月平均473枚 ◎令和5年度末で、交付133,061件、交付率85.3% ◎前年度対比で14,986枚11.1ポイントの増 ◎新たに、鳥取支所においても更新等の業務を開始した。</p> <p>(2)郵便局への申請サポート業務の委託(令和5年8月) ◎申請サポート実施郵便局(大楽毛、桜ヶ岡) ◎申請サポート件数23件</p> <p>(3)申請サポートの充実 ◎来庁申請サポート 3,356件 ◎団体申請サポート 1団体12件 ◎上記サポートのうち、郵送交付1,867件 ※カードの受け取りが自宅で可能</p> <p>(4)マイナンバーポイント等支援窓口 ◎令和5年度設定支援(予約、申込)延べ12,552件(市での支援数)(専用端末の使用件数。個人の端末機設定助言分は含めず) ◎すべての窓口交付者にチラシと声掛けで利用呼びかけ ◎すべての郵送交付者にチラシを同封し利用呼びかけ</p> <p>(5)その他 ◎令和5年度 会計年度任用職員21人体制 ・更新担当4人 ・申請・交付・マイナンバーポイント等・出張申請担当17人</p>

【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		206,567	187,308	147,848
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	206,377	187,015	147,562
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	190	293	286
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	22,528	22,835	23,184
①	職員数 (人)	3.2	3.2	3.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1,201.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		1,199.7	
注1)	釧路市民の人口	155,880人(R6.3末現在)		
注2)	市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見直し等

令和4年度実施事業評価結果		評価	継続維持	令和5年度実施事業評価結果		評価	継続維持
課題	<ul style="list-style-type: none"> 市の交付枚数の向上 内部処理事務の増加に伴う職員配置 			課題	<ul style="list-style-type: none"> 電子証明書の更新等の対応 事務の増加に伴う職員配置 		
今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後もカードの変更・更新等の受付や事務を継続していく。 マイナンバーカードセンター等の運営継続経費については、国庫支出金(補助率10/10)の対象となっており、国の予算編成の動向を注視し、判断していく。 今後、国で推奨しているマイナンバーカードの利活用については、庁舎内関係各課で検討が必要。 			今後(令和7年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 全国的にもマイナンバーカードの普及が進み、今後は新規取得者に係る普及の取り組みから、既取得者の変更・更新へ業務の比重が移ると見込まれることから、国の示す方向性及び予算編成の動向に注視し、窓口及び人員体制を判断することとなる。 		

令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	財産管理事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	財政部市有財産対策室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
	公共施設等適正化計画
	公共施設等見直し指針
都市経営戦略プラン	
目的と概要	自主財源の確保と保有資産の縮減のため、未利用地等の処分を推進する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画 <市有地売却促進>	(2)事業の実績と成果 <市有地売却促進>
○一般競争入札 (1)一般競争入札 ・入札予定 2物件(2筆、1,331.54㎡) (2)一般競争入札(インターネット公売) ・入札予定 10物件(10筆、3,843.95㎡、1戸、68.04㎡) ○随意契約 (1)価格固定先着順による売却 ・募集物件 一般競争入札において入札不調となった物件 (2)不動産媒介制度による売却 ・媒介依頼物件 (1)の募集物件 (3)その他随意契約による売却 ・売却予定 1物件(1筆、1,021.03㎡)	○一般競争入札 (1)一般競争入札 ・入札実施 1物件(1筆、870.94㎡) ◎売却物件 なし (2)一般競争入札(インターネット公売) ・入札実施 10物件(10筆、3,843.95㎡、1戸、68.04㎡) ◎売却物件 1物件(1筆、150.30㎡) ※ 入札不調となった物件は、価格固定先着順で売却促進 ○随意契約 (1)価格固定先着順による売却 ・実施物件 10物件(10筆、4,564.59㎡、1戸、68.04㎡) ◎売却物件 4物件(4筆、1,855.88㎡、1戸、68.04㎡) (2)不動産媒介制度による売却 ・媒介依頼物件 (1)の実施物件(10物件) ◎売却物件 1物件(1筆、711.06㎡) (3)その他随意契約による売却 ◎売却物件 2物件(2筆、1,407.95㎡)
【売却収入予算合計】 ・一般競争入札 31,069千円 ・随意契約 12,650千円 ・合計 13物件(13筆、6,196.52㎡、1戸、68.04㎡) 43,719千円	【売却収入実績合計】 ・一般競争入札 1,771千円 ・随意契約 42,551千円 ・合計 8物件(8筆、4,125.19㎡、1戸、68.04㎡) 44,322千円

【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		3,224	5,154	5,795
財源	一般財源 (千円)	△ 66,123	△ 39,168	△ 12,518
	国支支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	69,347	44,322	18,313
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,040	7,136	7,245
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		33.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 155,880 人(R6.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果		評価	継続維持	令和5年度実施事業評価結果		評価	継続維持
課題	・売却に適した土地の減少 ・売却に至らなかった物件の処分			課題	・売却に適した土地の減少 ・売却に至らなかった物件の処分		
今後(令和6年度以降)の方向性	・様々な処分方法の検討及び売却促進に向けた取組の継続			今後(令和7年度以降)の方向性	・様々な処分方法の検討及び売却促進に向けた取組の継続		

令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	定住自立圏構想等推進事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
	定住自立圏構想等推進要綱(総務省)
目的と概要	今後、人口減に伴う税収の減少などにより、全ての市町村ごとにフルセットの生活機能を整備・維持していくことが困難な状況となることが予想されるため、定住自立圏構想における圏域の中心市である釧路市の機能と近隣市町村の機能が協定によって連携し、「定住」のために必要なさまざまな機能を圏域全体で確保することを目指す。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1 連携事業の推進 圏域の釧路市と管内町村とが締結した協定に基づき、「生活基盤の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」の3つの政策分野について取組を推進する。</p> <p>2 協定の締結、変更等 この協定は、圏域全体の定住に必要な都市機能の確保、充実を図り、圏域住民が安心して暮らし続けられる圏域とするために締結するものである。 これまで釧路市と管内全ての町村との間で協定が締結された。今後、必要がある場合には変更を行うこととしている。</p>	<p>1 連携事業の実施 (1)定住自立圏の構想の推進に要する経費(特別交付税額) 令和5年度:165,873千円(令和4年度:124,971千円)</p> <p>(2)令和5年度連携内容(3つの政策分野から抜粋)</p> <p>◎【生活機能の強化】初期救急及び広域救急医療体制の充実 ・釧路市夜間救急センター利用件数 R5:4,025件(うち管内町村566件)</p> <p>◎【結びつきやネットワークの強化】移住・長期滞在に関する連携 ・圏域内での長期滞在者数 R5:2,178人(うち管内町村152人)</p> <p>◎【圏域マネジメント能力の強化】宣言中心市等における人材の育成 ・宣言中心市等における人材育成等のセミナーへの参加人数 R5:2,119人(うち管内町村100人)</p> <p>2 協定の締結、変更等 釧路市釧路町定住自立圏形成協定の一部を変更する協定(令和6年3月15日締結)</p> <p>3 会議の開催 ・定住自立圏共生ビジョン懇談会 令和5年9月1日開催【写真】 令和5年10月 ※書面開催</p>
<p>※ 釧路市との協定締結状況(締結順) 平成22年 釧路町、浜中町、鶴居村、白糠町、厚岸町 平成23年 標茶町、弟子屈町</p>	
<p>※ 共生ビジョンの期間は概ね5年とされており、現在の共生ビジョンは令和2年度から令和6年度までの5年間。</p>	
3 会議の開催	<p>定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催</p> <p>※「定住自立圏共生ビジョン懇談会」とは 定住自立圏共生ビジョンは、中心市である釧路市が、圏域の将来像や協定に基づいて推進する具体的な取組等について記載するもので、状況の変化に応じ毎年度変更を行っている。 その策定や変更にあたって、民間や地域の関係者を構成員として釧路市が開催する協議・懇談の場が「共生ビジョン懇談会」である。</p>



【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		50	58	101
財源	一般財源 (千円)	50	58	101
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,520	3,568	3,623
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 155,880人(R6.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果		評価	継続維持	令和5年度実施事業評価結果		評価	継続維持
課題	・協定に基づく連携事業による、成果の検証を行い、課題等の解決策を、ビジョンにも反映していく必要がある。			課題	・協定に基づく連携事業による、成果の検証を行い、課題等の解決策を、ビジョンにも反映していく必要がある。		
今後(令和6年度以降)の方向性	・ビジョンの検証を行うなかで生じた課題を解決するために、新しい取組の検討など、他町村との連携を深めながら定住に必要な都市機能の確保、充実を図っていく。			今後(令和7年度以降)の方向性	・ビジョンの検証を行うなかで生じた課題を解決するために、新しい取組の検討など、他町村との連携を深めながら定住に必要な都市機能の確保、充実を図っていく。		

令和5年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	人事給与事業<当初>
分類	令和5年度予算の主要事業
所管課・室	総務部職員課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	職員採用試験について、公務員試験対策を必要としないSPI3による試験を行い、民間企業との併願者など公務員試験対策を実施していない人でも受験しやすい環境を整える。 また、人材を確保するため、学校訪問や就職説明会による周知を行い、業務内容や働き方などを説明する。

【予算・決算データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		636	9,784	3,107
財源	一般財源 (千円)	636	9,784	3,107
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,112	3,568	3,623
①	職員数 (人)	0.3	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		62.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1)	釧路市民の人口 155,880 人(R6.3末現在)			
注2)	市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果								
<p>① SPI3試験の実施 職員採用試験の第1次試験(筆記試験)を一般教養試験から、SPI3に変更し、公務員試験対策を実施していない人でも受験しやすい環境を整える。</p> <p>② 学校訪問及び就職説明会等による周知 受験者を確保するため、学校訪問や就職説明会により、就職担当教員や受験対象となる学生と直接話し、当市の業務内容や働き方、やりがいなどを説明する。 また、UIJターン試験(民間企業等職務経験者対象)の周知を図るため、転職サイトへの掲載を実施する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※「SPI3」とは (株)リクルートマネジメントソリューションズが提供する基礎能力を測定する検査。言語(語彙、読解力)と非言語(計算、推理)の能力を測るもの。 同社が設置するテストセンターで受けることで、遠隔地にいる方でも、移動の時間や経費の負担が少ないメリットがある。</p> </div> <p>③ 人事給与システムの改修 定年引上げに伴う給料の7割措置等について、人事給与システムを改修して対応する。</p>	<p>① SPI3試験の実施 大学卒・短大卒の職員採用試験の第1次試験(筆記試験)をSPI3に変更した。あわせて、第1次試験の個人面接試験をZoomで実施することにより、釧路市会場に来ることなく第1次試験を受験する環境を整えた。</p> <p>② 学校訪問及び就職説明会等による周知 ● 学校訪問 技術職の受験者を確保するため、土木職や保健師の専門課程を有する学校を訪問し、就職担当教員等に、当市の業務内容の説明や就職動向等の意見交換を実施した。(10校) ● 就職説明会 北海道や就職支援機関等が実施する就職説明会に参加したほか、市主催の就職相談会(オンライン)を実施し、当市の業務内容や働き方、やりがいなどを説明した。(9回、398人参加) ● 転職サイトへの掲載 UIJターン試験の周知を図るため、転職サイトに募集情報を掲載した。</p> <p>◎職員採用試験(総合職)の受験申込者数の推移(人)</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験申込者数</td> <td>263</td> <td>240</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R3のみ実施した社会人枠採用試験の受験者数を除く。</p> <p>③ 人事給与システムの改修 当初計画のとおり、人事給与システムを改修した。</p>		R3	R4	R5	受験申込者数	263	240	300
	R3	R4	R5						
受験申込者数	263	240	300						

3 事業実施上の課題と今後(令和7年度以降)の方向性、見通し等

令和4年度実施事業評価結果	評価	令和5年度実施事業評価結果	評価	継続維持
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な採用における売り手市場が続くとともに、人口減少が相まって、受験者数は減少していくことが見込まれる。特に技術職は、民間企業を含めて、人材の取り合いになっており、引き続き、受験者数の確保が課題となっている。 	
今後(令和6年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和7年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 職種を問わず、当市の業務内容や働き方、やりがいなどを知らせてもらう取り組みを行うとともに、オンラインの利用等、受験者の視点で受験環境を整備していく必要がある。 	